

2023年度

岡山大学大学院保健学研究科
(博士後期課程)

学生募集要項



岡山大学大学院保健学研究科

連絡先 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ
保健学研究科担当
所在地 〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
電 話 (086) 235-7984

入学者選抜日程等概要

【博士後期課程 先端医療研究プログラム】

入試区分	教育研究分野	サブプログラム	募集人員
一般入試	看護学分野	看護学高度研究コース	10人
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・先端研究コース	
	検査技術科学分野	臨床検査科学・先端研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療・医科学研究コース	
社会人入試 外国人留学生特別入試 進学者選考	看護学分野	看護学高度研究コース	若干人 ^{注)}
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・先端研究コース	
	検査技術科学分野	臨床検査科学・先端研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療・医科学研究コース	

注) 募集人員の若干人に、0-NECUS修了者特別入試による入学志願者も含まれますが、入学者選抜日程が異なります。

語学力を証明する資料についての問い合わせ締切	2022年6月24日(金)
入学資格審査受付期間	2022年6月28日(火)～2022年7月1日(金)
入学資格審査結果通知発送	2022年7月7日(木)頃 (7月14日(木)までに到着していない場合、提出先に連絡ください)
障がい等のある方の出願相談締切	2022年6月24日(金)
出願受付期間	2022年7月15日(金)～2022年7月20日(水)
受験票発送	2022年7月28日(木)頃 (8月12日(金)までに到着していない場合、提出先に連絡ください)
試験日時	2022年8月20日(土)9:30～ (保健学科棟入館開始は9:10※但し、口述試験のみの方は12:10)
合格者発表日時	2022年9月16日(金)10:00
入学手続期間	2022年9月27日(火), 9月28日(水)

特別警報や気象警報等により入学試験の実施を延期する、または試験開始時刻を繰り下げる場合があるため、試験実施までの間、保健学研究科・医学部保健学科ホームページを確認してください。なお、試験を延期する場合は、2022年9月3日(土)を予備日とする予定です。

URL : <https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

試験当日はマスクの持参及び使用等により、各自で感染拡大防止に努めてください。

目 次

I	アドミッション・ポリシー	1
II	一般入試	2
III	社会人入試	6
IV	外国人留学生特別入試	10
V	各選抜共通事項	13
VI	進学者選考要項	18
VII	サブプログラムと指導教員	21
VIII	カリキュラム・ポリシー	22
IX	ディプロマ・ポリシー	29
*	入学検定料支払の流れ	32
*	鹿田キャンパス案内図	35

I アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

【博士後期課程先端医療研究プログラム】

求める人材（学生像）

本研究科保健学専攻が、教育研究を通して、実証に基づいた看護学・保健学の学問・研究基盤を確立するとともに、患者および家族のニーズをくみ取る感性、深い倫理観と総合的な判断力、そして高度な専門知識と実践力を備えた研究者・教育者の養成を行う上で国内外から広く求める人物像は、以下の通りです。

- 人間や物事の本質を見抜く感性を持つ人
- 多角的かつ包括的な視点と包容力を持ち、将来、医療・保健チームをリードする素質を持つ人
- 研究の基礎能力と真理への探究心を持ち、医科学やヘルスプロモーション科学の確立を進めていく可能性を持つ人
- 保健・医療・福祉分野の研究者・教育者を目指す人
- 将来保健・医療・福祉の領域で国際的な活動・貢献を目指す人

博士後期課程入学後の学習のため、教育研究分野ごとに置くサブプログラムでは、特に以下の内容を修得していることが望まれます。

<看護学分野>

〔看護学高度研究コース〕

- ・看護・保健学とその関連分野で求められる科学的思考能力
- ・プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力
- ・英語論文を執筆可能な英語力

<放射線技術科学分野>

〔放射線技術科学・先端研究コース〕

- ・放射線技術科学とその関連分野で求められる科学的思考能力
- ・論文執筆のための英語力

<検査技術科学分野>

〔臨床検査科学・先端研究コース〕

- ・医科学領域で必要とされる科学的思考能力や論理的思考能力
- ・統計学についての知識
- ・医学英語論文の読解力および執筆力

〔超音波検査士育成コース（博士前期・後期課程一貫コース）〕

- ・超音波計測における基本的な知識・技術を有していること
- ・超音波計測の検査ルーチンをこなせること
- ・修学するために必要な基礎的英語力

〔ゲノム医療・医科学研究コース〕

- ・バイオインフォマティクスおよび遺伝子解析に関する知識
- ・修学するために必要な基礎的英語力
- ・遺伝子関連の認定資格を有していること

入学者選抜の基本方針

前記のような人物（学生）を選抜するために、博士後期課程のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、一般入試、社会人入試、外国人特別入試、進学者選考、O-NECUS 修了者特別選抜において様々な要素を測ります。

◇一般入試

筆記試験と口述試験を課しています。

筆記試験では、保健医療学分野の英語課題を用い、語学力のみならず、論理構造の理解力、表現力等を総合的に評価します。専門科目の口述試験では、専門科目に関する知識、理解力やキャリアプラン、英語力や論文執筆能力などについて評価します。

◇社会人入試

入学時に医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において3年以上の専門的な実務経験を有する者を対象に、筆記試験と口述試験を課しています。筆記試験では、保健医療学分野の英語課題を用い、語学力のみならず、論理構造の理解力、表現力等を総合的に評価します。専門科目の口述試験では、専門科目に関する知識、理解力や社会人としてのキャリアプラン、英語力や論文執筆能力などについて評価します。

◇外国人留学生特別入試

日本の国籍を有しない者を対象に、口述試験を課し、受験時までに習得した語学力や専門性、キャリアプラン、就学の前提となる異文化適応状況などについて、複数の教員が多面的に評価します。

◇進学者選考

岡山大学大学院修士課程又は博士前期課程を修了見込みの者を対象に、口述試験を課し、これまで行ってきた研究内容、キャリアプラン、専門的知識、英語力などを評価します。

◇O-NECUS 修了者特別入試

O-NECUS プログラム（岡山大学－中国東北部大学院留学生交流プログラム）修了者を対象に、O-NECUS プログラムの成績（学力・意思・意欲）、書類審査、面接などにより、専門科目に関する知識、理解力やキャリアプラン、就学の前提となる異文化適応状況などについて、複数の教員が多面的に評価します。O-NECUS 修了者特別入試の要項は、本要項とは別になります。

II 一般入試

1 募集人員

専 攻	教育研究分野	サブプログラム	募集人員	備 考
保健学専攻	看護学分野	看護学高度研究コース	10人	注)
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・先端研究コース		
	検査技術科学分野	臨床検査科学・先端研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療・医科学研究コース		

注) 募集人員には、社会人入試、外国人留学生特別入試及び進学者選考による若干人を含みます。

- 入学を志望する方は、出願前に、希望するサブプログラムの指導教員(21頁, 22頁「サブプログラムと指導教員」参照)と連絡をとってください。

2 出願資格

一般入試に出願できる者は、次のいずれかに該当する者又は2023年3月までに該当する見込みの者

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者
- ② 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 外国の学校、④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 1. 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育の16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月までに24歳に達する者

3 出願資格における個別の入学資格審査

2の「出願資格」⑦⑧に該当する入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、13頁の「V 各選抜共通事項 1 出願資格における個別の入学資格審査」により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

4 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、14頁の「V 各選抜共通事項 2 障がい等のある方の出願」により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

5 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(4)の「出願に必要な書類等」を出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

2022年7月15日（金）から2022年7月20日（水）まで

(注) 郵送とし、2022年7月20日（水）17時00分までに必着としますが、これ以降に到着したものは、2022年7月19日（火）までの消印のあるものに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。
 なお、出願期間中の 9 時 00 分から 17 時 00 分までは、次の（３）の提出先への持参も認めます。

（３） 提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ 保健学研究科担当 電話（086）235-7984
--

（４） 出願に必要な書類等

出願は、出願書類提出用封筒（市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）を各自でご用意ください。）に出願書類提出用封筒宛名（様式 D-7）に必要事項を記入し貼り付けて出願用封筒を作成し、次に掲げる書類等を順番に重ねて同封し、「書留・速達」として郵送してください。

出願に必要な書類等		摘 要
① 入学願書（様式 D-1-1）		本研究科所定の用紙
② 受験票、写真票（様式 D-2）		本研究科所定の用紙
③ 成績証明書		出身学校長（研究科長、学部長等）が作成し、厳封したもの なお、本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。
④ 最終学歴の 修了証明書 （右のいずれか）	修了（見込） 証明書	出身大学院の研究科長（又は学長）が作成し、厳封したもの なお、本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。
	卒業証明書	出身大学の学部長（又は学長）が作成し、厳封したもの なお、本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。
	学位授与証明書又は学位申請受理証明書	大学改革支援・学位授与機構が作成したもの
⑤ 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書		2 の出願資格⑥により出願する方は、当該審査を行った学校等の長（学長、施設長等）が作成した、「博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書」（添付「様式例」参照）及び、その添付資料として「当該審査の合格とその学校等における修士の学位の授与要件の関係を示す資料」
⑥ 研究(希望)計画書（様式 D-3）		本研究科所定の用紙
⑦ 修士論文等		修士の学位を有する方は、修士論文の写し及び修士論文要旨（本研究科所定の用紙「修士論文要旨・研究経過報告書（様式 D-4）」で 2,000 字程度）各 1 部 また、専門職学位を有する方で、修士論文に相当する論文を有する場合は、当該論文の写し 1 部

	修士課程修了見込みの方、及び2の出願資格⑦⑧により出願する方は、研究経過報告書（本研究科所定の用紙「修士論文要旨・研究経過報告書（様式D-4）」で2,000字程度）
⑧ 研究業績の概要	A4版で400字以内で様式は任意、若しくは専門領域で最新の業績等のコピー
⑨ 入学検定料	30,000円（手数料が別に必要です。） 入学検定料は、「入学検定料支払の流れ」に従って支払ってください。支払確認後に、「検定料収納証明書」を印刷し、様式D-1-1「入学願書」の所定欄にのりで貼り付けてください。出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン支払手続きが可能です。 【入学検定料の免除について】 本学では、2021年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、学部入試等において、入学検定料免除の措置を講じます。 詳細については、本学のホームページ（https://www.okayama-u.ac.jp）から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。
⑩ 受験票等送付用封筒	受験票等返信封筒（市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）を各自でご用意ください）に受験票等送付用封筒宛名（様式D-8）に必要事項を記入し貼り付けて、344円分の切手を貼付してください。
【日本国籍を有しない方】 ⑪ 住民票	現に日本国に在住し、かつ外国人登録済の外国人は市区町村長の交付する住民票（在留資格・在留期間が明示されたもの）を提出してください。 出願時に日本国内に在住しない方は、受験のために有効な査証の写を提出してください。
【日本国籍を有しない方】 ⑫ 語学力を証明する資料※	受入指導予定教員と相談し、以下のうちいずれか1つを提出してください。 ・日本語能力試験2級（又はN2）以上の合格通知書 ・TOEFL・iBTの61点以上の成績証明書

※⑫語学力を証明する資料について

TOEIC 若しくは IELTS の成績通知書しかない方及び母国において主たる言語として英語を使用している方については、2022年6月24日（金）までに下記に問い合わせてください。

【問い合わせ先】〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ
保健学研究科担当 （電話 086-235-7984）

III 社会人入試

- 「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」について
社会人入試入学に対して、大学院での学習を容易とするために「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」があります。

参 考

大学院設置基準第14条（昭和49年文部省令第28号抜粋）

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

ただし、本特例を受ける場合にあっては本大学院において指定した講義等の日時の範囲内で受講が可能とします。

- ◎ 第14条適用希望者は、入学願書の第14条適用希望有無欄に○印で表記してください。
- ◎ 第14条適用者に対しては、6，7限目（18:30～21:40）の時間帯で開講することもあります。
- ◎ 授業によっては、集中講義（土曜日、日曜日を含む。）の授業もあります。
- ◎ 第14条適用者で、上記以外の授業形態を希望する場合は、指導教員と相談してください。

ただし、希望どおりの授業形態とはならない場合があります。この場合は修業期間は3年以上を要することがあります。

- 社会人は、標準修業年限を超えての計画的な履修（長期履修4年，5年又は6年）を許可することがあります。
- 社会人で企業等を退職し、入学する方は一般入試で出願してください。

1 募集人員

専 攻	教育研究分野	サブプログラム	募集人員
保健学専攻	看護学分野	看護学高度研究コース	若干人
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・先端研究コース	
	検査技術科学分野	臨床検査科学・先端研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療・医科学研究コース	

- 入学を志望する方は、出願前に、希望するサブプログラムの指導教員（21項，22頁「サブプログラムと指導教員」参照）と連絡をとってください。

2 出願資格

社会人入試に出願できる者は、入学時に医療・保健・福祉施設，教育研究機関，官公庁，企業等において3年以上の専門的な実務経験（通算可）を有する者で次のいずれかに該当（2023年3月までに該当する見込みの者を含む。）し、入学後も引き続き勤務を続ける者

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者

- ② 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 国際連合大学の課程に修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 外国の学校、④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - 1. 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - 2. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育の16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月までに24歳に達する者

3 出願資格における個別の入学資格審査

2の「出願資格」⑦⑧に該当する入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、13頁の「V 各選抜共通事項 1 出願資格における個別の入学資格審査」により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

4 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、14頁の「V 各選抜共通事項 2 障がい等のある方の出願」により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

5 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(4)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

2022年7月15日（金）から2022年7月20日（水）まで

(注) 郵送とし、2022年7月20日（水）17時00分までに必着としますが、これ以降に到着したものは、2022年7月19日（火）までの消印のあるものに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。なお、出願期間中の9時00分から17時00分までは、次の(3)の提出先への持参も認めます。

(3) 提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ

保健学研究科担当

電話 (086) 235-7984

(4) 出願に必要な書類等

出願は、出願書類提出用封筒（市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）を各自でご用意ください。）に出願書類提出用封筒宛名（様式 D-7）に必要事項を記入し貼り付けて出願用封筒を作成し、次に掲げる書類等を順番に重ねて同封し、「書留・速達」として郵送してください。

出願に必要な書類等		摘 要
① 入学願書（様式 D-1-1）		本研究科所定の用紙
② 受験票，写真票（様式 D-2）		本研究科所定の用紙
③ 成績証明書		出身学校長（研究科長，学部長等）が作成し，厳封したもの なお，本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。
④ 最終学歴の修了証明書（右のいずれか）	修了（見込）証明書	出身大学院の研究科長（又は学長）が作成し，厳封したもの なお，本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。
	卒業証明書	出身大学の学部長（又は学長）が作成し，厳封したもの なお，本学の卒業者及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。
	学位授与証明書又は学位申請受理証明書	大学改革支援・学位授与機構が作成したもの
⑤ 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書		2 の出願資格⑥により出願する方は，当該審査を行った学校等の長（学長，施設長等）が作成した，「博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書」（添付「様式例」参照）及び，その添付資料として「当該審査の合格とその学校等における修士の学位の授与要件の関係を示す資料」
⑥ 研究（希望）計画書（様式 D-3）		本研究科所定の用紙
⑦ 研究業績等調書（様式 D-5）		本研究科所定の用紙
⑧ 研究業績の概要		A 4 版で 400 字以内で様式は任意，若しくは専門領域で最新の業績等のコピー

⑨ 入学検定料	30,000円（手数料が別に必要です。） 入学検定料は、「入学検定料支払の流れ」に従って支払ってください。支払確認後に、「検定料収納証明書」を印刷し、様式D-1-1「入学願書」の所定欄にのりで貼り付けてください。 出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン支払い手続きが可能です。 【入学検定料の免除について】 本学では、2021年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、学部入試等において、入学検定料免除の措置を講じます。 詳細については、本学のホームページ（https://www.okayama-u.ac.jp）から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。
⑩ 受験許可書（様式D-6）	本研究科所定の用紙又は任意の様式でも可能です。
⑪ 受験票等送付用封筒	受験票等返信封筒（市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）を各自でご用意ください）に受験票等送付用封筒宛名（様式D-8）に必要事項を記入し貼り付けて、344円分の切手を貼付してください。
【日本国籍を有しない方】 ⑫ 住民票	現に日本国に在住し、かつ外国人登録済の外国人は、市区町村長の交付する住民票（在留資格・在留期間が明示されたもの）を提出してください。 出願時に日本国内に在住しない方は、受験のために有効な査証の写を提出してください。
【日本国籍を有しない方】 ⑬ 語学力を証明する資料※	受入指導予定教員と相談し、以下のうちいずれか1つを提出してください。 ・日本語能力試験2級（又はN2）以上の合格通知書 ・TOEFL・iBTの61点以上の成績証明書

※⑬語学力を証明する資料について

TOEIC 若しくは IELTS の成績通知書しかない方及び母国において主たる言語として英語を使用している方については、2022年6月24日（金）までに下記に問い合わせてください。

【問い合わせ先】 〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ
 保健学研究科担当 （電話 086-235-7984）

IV 外国人留学生特別入試

1 募集人員

専攻	教育研究分野	サブプログラム	募集人員
保健学専攻	看護学分野	看護学高度研究コース	若干人
	放射線技術科学分野	放射線技術科学・先端研究コース	
	検査技術科学分野	臨床検査科学・先端研究コース 超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース) ゲノム医療・医科学研究コース	

- 入学を志望する方は、出願前に、希望するサブプログラムの指導教員(21頁, 22頁「サブプログラムと指導教員」参照)と連絡をとってください。

2 出願資格

外国人留学生特別入試に出願できる者は、日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者又は2023年3月までに該当する見込みの者

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者
- ② 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ④ 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同以上の学力があると認めた者で、2023年3月までに24歳に達する者

3 出願資格における個別の入学資格審査

2の「出願資格」④に該当する入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、13頁の「V 各選抜共通事項 1 出願資格における個別の入学資格審査」により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

4 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、14頁の「V 各選抜共通事項 2 障がい等のある方の出願」により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

5 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(4)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

2022年7月15日(金)から2022年7月20日(水)まで

- (注) 郵送とし、2022年7月20日(水)17時00分までに必着としますが、これ以降に到着したものは、2022年7月19日(火)までの消印のあるものだけに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日

時を必ず確認しておいてください。なお、出願期間中の 9 時 00 分から 17 時 00 分までは、次の（３）の提出先への持参も認めます。

（３）提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ 保健学研究科担当 電話（086）235-7984
--

（４）出願に必要な書類等

出願は、出願書類提出用封筒（市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）を各自でご用意ください。）に出願書類提出用封筒宛名（様式 D-7）に必要な事項を記入し貼り付けて出願用封筒を作成し、次に掲げる書類等を順番に重ねて同封し、「書留・速達」として郵送してください。

出願に必要な書類等		摘 要
① 入学願書（様式 D-1-1）		本研究科所定の用紙
② 受験票，写真票（様式 D-2）		本研究科所定の用紙
③ 成績証明書		出身学校長（研究科長，学部長等）が作成し，厳封したもの。なお，本学の卒業生及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。
④ 最終学歴の修了証明書（右のいずれか）	修了（見込）証明書	出身大学院の研究科長（又は学長）が作成し，厳封したもの。なお，本学の卒業生及び卒業見込みの入学志願者は厳封不要です。
	学位授与証明書 又は学位申請受理証明書	大学改革支援・学位授与機構が作成したもの
⑤ 研究（希望）計画書（様式 D-3）		本研究科所定の用紙
⑥ 入学検定料		30,000 円（手数料が別に必要です。） 入学検定料は，「入学検定料支払の流れ」に従って支払ってください。支払確認後に，「検定料収納証明書」を印刷し，様式 D-1-1「入学願書」の所定欄にのりで貼り付けてください。 出願期間の 1ヶ月前から入学検定料のオンライン支払い手続きが可能です。 【入学検定料の免除について】 本学では，2021年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し，進学機会の確保を図るために，学部入試等において，入学検定料免除の措置を講じます。 詳細については，本学のホームページ（https://www.okayama-u.ac.jp）から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。

⑦ 受験票等送付用封筒	受験票等返信封筒（市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）を各自でご用意ください）に受験票等送付用封筒宛名（様式D-8）に必要事項を記入し貼り付けて、344円分の切手を貼付してください。
⑧ 住民票	現に日本国に在住し、かつ外国人登録済の外国人は、市区町村長の交付する住民票（在留資格・在留期間が明示されたもの）を提出してください。 出願時に日本国内に在住しない方は、受験のために有効な査証の写を提出してください。
⑨ 語学力を証明する資料※	受入指導予定教員と相談し、以下のうちいずれか1つを提出してください。 ・日本語能力試験2級（又はN2）以上の合格通知書 ・TOEFL・iBTの61点以上の成績証明書
⑩ 国費留学生証明書	国費留学生のみ提出してください。 当該者が在籍する大学での国費留学生である旨の大学長等の証明書

※⑨語学力を証明する資料について

TOEIC 若しくは IELTS の成績通知書しかない方及び母国において主たる言語として英語を使用している方については、2022年6月24日（金）までに下記に問い合わせてください。

【問い合わせ先】〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ

保健学研究科担当 （電話 086-235-7984）

※⑩国費外国人留学生は、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。

V 各選抜共通事項

1 出願資格における個別の入学資格審査

受 付 期 間	2022 年 6 月 28 日（火）から 2022 年 7 月 1 日（金）17 時 00 分まで （郵送による申請の場合も、上記受付期間内に必着とします。）
提出先及び照会先	〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ 保健学研究科担当 電話（086）235-7984
提 出 書 類	【一般入試及び社会人入試出願資格⑦に該当する場合】 (1) 入学試験出願資格認定申請書（本研究科所定用紙）様式 D－A (2) 最終学歴（在学中の学校）の在学期間証明書 (3) 最終学歴（在学中の学校）の成績証明書 (4) 最終学歴の指導教授等による推薦書（様式任意） (5) 履修要覧（学生便覧）等 (6) 長形 3 号封筒 1 枚（返信先住所等を記入し、344 円分の切手を貼付したもの） 【一般入試及び社会人入試出願資格⑧、外国人留学生特別入試出願資格④に該当する場合】 (1) 入学試験出願資格認定申請書（本研究科所定用紙）様式 D－A (2) 最終学歴の卒業（修了）証明書 (3) 最終学歴の成績証明書 (4) 研究（希望）計画書（本研究科所定用紙） (5) 研究業績等調書（本研究科所定用紙） (6) 主要な論文，研究発表等の写し (7) 長形 3 号封筒 1 枚（返信先住所等を記入し、344 円分の切手を貼付したもの） (8) その他，資格審査に必要な書類（外国人留学生特別入試出願資格④に該当する場合のみ）
認 定 方 法	提出された書類により，本研究科において出願資格の有無を判断します。なお，必要がある場合には，面接を行います。 （面接の日程等については，別途連絡します。）
審査結果の通知	2022 年 7 月 7 日（木）頃に，申請者あて郵送により通知します。 7 月 14 日（木）までに到着していない場合，提出先に連絡ください。
認 定 基 準	【一般入試及び社会人入試出願資格⑧，外国人留学生特別入試出願資格④に該当する場合の認定基準】 大学，短期大学，高等専門学校，専修学校専門課程又は各種学校を修了し，又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後，医療，保健，福祉施設，教育研究機関，官公庁，企業等において 2023 年 3 月までに 3 年以上の実務研究実績があり，著書，学術論文，研究発表等により本学大学院保健学研究科博士前期課程修了と同等以上の学力があると認められる者

2 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相 談 締 切 期 限	2022 年 6 月 24 日（金）
相 談 方 法	本研究科所定の用紙「出願に伴う事前相談書」様式D－Bに記入の上、医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添付して相談してください。
書 類 提 出 先	〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ 保健学研究科担当 電話（086）235-7984
注 意 事 項	相談の期限後に、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることとなった方は、上記の書類の提出先に問い合わせてください。

3 出願上の注意事項

- (1) 入学願書の志望分野及び志望サブプログラムは必ず記入してください。
また、出願後の志望分野等の変更は認められません。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更は認めません。
また、次の場合を除き支払い済みの入学検定料の返還はしません。
ア 入学検定料を支払いしたが岡山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった。）場合
イ 入学検定料を誤って二重に支払いした場合
ウ 入学検定料の免除に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合
- (3) 出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあります。
また、出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
- (4) 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、入学願書の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新・旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式任意）を添付してください。
- (5) 出願書類等及びこれらに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。
なお、これらの個人情報は、入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
また、次の個人情報は、入学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。
・入学者のみ、氏名、生年月日、性別、出願資格、入学課程・専攻・分野・サブプログラム等の個人情報を、本学の学務システムで利用します。なお、入学者のうち、入学料免除及び入学料徴収猶予申請者、授業料免除申請者、独立行政法人日本学生支援機構奨学金申請者については、入学試験成績の個人情報を、それぞれの学力判定処理に利用することがあります。
・合格者のみ、氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムで利用します。

4 受験票の交付

(1) 受験票は、2022年7月28日(木)頃に本人あて発送します。

なお、8月11日(木)までに到着しない場合には、下記あて連絡してください。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ

保健学研究科担当 電話 (086) 235-7984

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

5 受験上の注意事項

(1) 試験前日の14時00分以降に、医学部保健学科棟玄関前に掲示してある配置図により、各自が受験する試験室及び試験場本部を確かめておいてください。ただし、試験場の建物内に入ってはけません。

(2) 受験に際しては、受験票を必ず持参してください。

(3) 受験者は、試験開始20分前までに集合してください。

(4) 遅刻時間が試験開始後30分を超えたときは、入室を許可しません。

6 入学者選抜の方法

筆記試験〔外国語(英語)〕、口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。

(1) 試験日時及び試験場等

【一般入試・社会人入試】

試験日	試験科目等		配点	時間	試験場
2022年 8月20日(土)	筆記試験	外国語(英語) 注)	100	9:30~11:00	医学部 保健学科棟
	口述試験		100	12:30~	

注) 英和辞典(電子辞書は不可) 1冊の持ち込みが可能です。

【外国人留学生特別入試】

試験日	試験科目等		配点	時間	試験場
2022年 8月20日(土)	口述試験		100	12:30~	医学部 保健学科棟

(※) COVID-19の感染拡大防止のため日本国への渡航が制限されている場合は、選抜方法を「インターネットを介したビデオ通話機能を利用した口述試験」に変更し、日本国への渡航を不要とします。詳細は個別に連絡しますので、2022年7月20日(水)までに以下のアドレスへ志願者氏名及び状況を連絡してください。

医歯薬学総合研究科等学務課保健学研究科担当: ishiyaku-g-hoken@adm.okayama-u.ac.jp

●特別警報や気象警報等により入学試験の実施を延期する、または試験開始時刻を繰り下げる場合があるため、試験実施までの間、保健学研究科・医学部保健学科ホームページを確認してください。

なお、試験を延期する場合は、2022年9月3日(土)を予備日とする予定です。

<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

●試験当日はマスクの持参及び使用等により、各自で感染拡大防止に努めてください。

(2) 分野・サブプログラム別試験内容等

【一般入試・社会人入試】

教育研究分野	サブプログラム	試験内容等		備考
		外国語(英語)	口述試験	
看護学分野	看護学高度研究コース	分野共通	分野ごとに専門や修士研究等について試問します	
放射線技術科学分野	放射線技術科学・先端研究コース			
検査技術科学分野	臨床検査科学・先端研究コース			
	超音波検査士育成コース（博士前期・後期課程一貫コース）			
	ゲノム医療・医科学研究コース			

【外国人留学生特別入試】

教育研究分野	サブプログラム	試 験 内 容 等	備考
		口述試験	
志望分野	志望サブプログラム	専門・研究能力及び語学力等について試問します	

7 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
2022 年 9 月 16 日（金）10 時 00 分	医学部保健学科棟玄関前

- ① 掲示板に合格者の受験番号を公表し、同日付けで合格者には合格通知書を本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格発表後、保健学研究科・医学部保健学科 HP にも合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は、2022 年 9 月 16 日（金）から 2022 年 9 月 23 日（金）までとします。<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>
- ③ 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

追加合格・追加募集について

入学手続の状況により、入試の受験者を対象として、「追加合格」により欠員補充を行うことがあります。

実施予定期間：2022年9月29日（木）、9月30日（金）

実施方法： 入学願書に記載された現住所等へ「電話により」直接本人に連絡しますので、本研究科からの連絡が確実に受けられるよう所在を明らかにしておいてください。また、それでもなお入学手続完了者数が募集人員に満たなかった場合は、追加募集を行う場合があります。

8 入学手続等

(1) 手続期間： 2022 年 9 月 27 日（火）、9 月 28 日（水）

(入学手続書類等は、合格者に対して、出願時に提出された入学願書の住所に郵送します。)

(2) 手続場所 : 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ
保健学研究科担当

(3) 手続時の必要経費 : 入学料 282,000 円【予定額】

(注) * 授業料の納入は入学後 5 月になります。

* 授業料 (前半期分) 267,900 円 (年額 535,800 円) 【予定額】

入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

9 入試情報の開示

(1) 開示対象者

2023 年度入試の受験者

(2) 開示する内容

① 本人の試験成績 (総得点)

② 合格者の成績情報 (本人が受験した入試区分の最高点、最低点 及び 平均点)

ただし、当該入試区分の合格者が 5 人未満の場合は開示しません。

(3) 開示請求方法

「入試情報開示請求書」(所定様式)に受験票を添えて、本人が下記(4)の開示請求受付期間中に、保健学研究科担当あてに提出してください。

なお、「入試情報開示請求書」は保健学研究科担当の窓口で入手するか、郵送により請求してください。

郵送で請求する場合には、返信用封筒(郵便番号・住所・氏名を明記し、84 円分の切手を貼った長形 3 号封筒(縦 23.5 cm×横 12 cm))を同封の上、「受験番号」及び「入試情報開示請求書希望」の旨を明記し、保健学研究科担当あてに送付してください。

(4) 開示請求受付期間

2023 年 5 月 8 日 (月) ~ 6 月 27 日 (火) まで

9 時 00 分 ~ 17 時 00 分 (土・日曜日、祝日は除く。)

(注) 郵送による開示請求の場合は、期間内の消印があるものに限り受け付けます。

(5) 開示方法

「入試情報開示請求書」受理後、通知書の準備ができ次第、速やかに開示(発送)します。

(ただし、2023 年 6 月より前の請求については、6 月以降の開示とします。)

請求書類に不備があるときには、受理しない(修正を求める)ことがあります。

10 標準修業年限及び学位

分 野	標準修業年限	授 与 さ れ る 学 位
看護学分野	3 年	博士(看護学)又は(保健学)
放射線技術科学分野	3 年	博士(保健学)
検査技術科学分野	3 年	博士(保健学)

11 修学支援

本学では、修学支援として、授業料免除(大学独自制度)及び奨学金(日本学生支援機構、大本育英会給与奨学金等)の制度を設けています。

募集内容等は岡山大学ホームページで最新情報を確認してください。

【URL】 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/index.html>

＜大本育英会給与奨学金（募集予定）＞

公益財団法人大本育英会では、日本国籍を有しており、以下に掲げる岡山大学（以下「本学」という。）の学生を対象として、年額120万円の給付型奨学金を設けています。

- ・本学博士前期課程（修士課程）2年次生で、本学博士後期課程への進学を希望する者

【支給期間】博士後期課程の3年間

- ・本学以外から入学した博士後期課程1年次生

【支給期間】博士後期課程2～3年次

- ・本学医歯薬学総合研究科（4年制博士課程）1年次生

【支給期間】博士課程2～4年次

大本育英会奨学金及びその他民間団体・地方公共団体の奨学金の募集内容については、岡山大学ホームページの「民間・地方公共団体の奨学金」で最新情報を確認してください。

【URL】 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_a2-2.html

＜岡山大学 Alumni（全学同窓会）博士後期課程入学支援事業（募集予定）＞

岡山大学博士前期課程（修士課程）修了生である社会人が、岡山大学博士後期課程へ入学する際に、入学金の一部を支援することにより、岡山大学同窓生の学術知識の学び直しに寄与する事業です。給付額は15万円で、合格者の中から研究科において入学後に選考します。

VI 進学者選考要項

1 出願資格

岡山大学大学院修士課程又は博士前期課程を、2023年3月修了見込みの者

2 出願に必要な書類

出願は、出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自でご用意ください。）に出願書類提出用封筒宛名（様式D-7）に必要事項を記入し貼り付けて出願用封筒を作成し、次に掲げる書類等を順番に重ねて、同封し、「書留・速達」として郵送してください。

出願に必要な書類等	摘 要
① 進学願書（様式D-1-2）	本研究科所定の用紙
② 受験票、写真票（様式D-2）	本研究科所定の用紙
③ 成績証明書	研究科長が作成したもの
④ 修士課程の修了見込証明書	研究科長が作成したもの
⑤ 研究（希望）計画書（様式D-3）	本研究科所定の用紙
⑥ 修士論文等	研究経過報告書（本研究科所定の用紙「修士論文要旨・研究経過報告書（様式D-4）」で2,000字程度）
⑦ 研究業績の概要	A4版で400字以内で様式は任意、若しくは専門領域で最新の業績等のコピー
⑧ 受験票等送付用封筒	受験票等返信封筒（市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）を各自でご用意ください）に受験票等送付用封

	簡宛名（様式D－8）に必要事項を記入し貼り付けて、344円分の切手を貼付してください。
⑨ 住民票	日本に在留する外国人

3 出願手続

(1) 出願方法

進学志願者は、2の「出願に必要な書類」等を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

(2) 出願期間

2022年7月15日（金）から2022年7月20日（水）まで

（注） 郵送とし、2022年7月20日（水）17時00分までに必着としますが、これ以降に到着したものは、2022年7月19日（火）までの消印のあるものだけに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。なお、出願期間中の9時00分から17時00分までは、次の（3）の提出先への持参も認めます。

(3) 提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ
保健学研究科担当 電話 (086) 235-7984

(4) 出願上の注意事項

- ① 検定料及び入学料は不要です。
- ② 進学願書の志望分野及び志望サブプログラムは必ず記入してください。
また、出願後の志望分野等の変更は認められません。
- ③ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更は認めません。
- ④ 出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、進学後においても進学が取り消されることがあります。
また、出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。

(5) 出願書類等及びこれらに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、進学者選抜に関する業務に使用します。

なお、これらの個人情報は、進学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

また、次の個人情報は、進学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。

- ・進学者のみ、氏名、生年月日、性別、出願資格、入学課程・専攻・分野・サブプログラム等の個人情報を、本学の学務システムで利用します。なお、進学者のうち、授業料免除申請者、独立行政法人日本学生支援機構奨学金申請者については、試験成績の個人情報を、それぞれの学力判定処理に利用することがあります。
- ・合格者のみ、氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムで利用します。

4 受験上の注意事項

- ①試験前日の14時00分以降に、医学部保健学科棟玄関前に掲示してある配置図により、各自が受験する試験室及び試験場本部を確かめておいてください。ただし、試験場の建物内に入ってはけません。
- ②受験に際しては、受験票を必ず持参してください。
- ③受験者は、試験開始20分前までに集合してください。
- ④遅刻時間が試験開始後30分を超えたときは、入室を許可しません。

5 進学者選考の方法

口述試験及び書類審査の結果を総合して行います。

(1) 試験日時及び試験場

試 験 日	試 験 科 目 等	配点	時 間	試 験 場
2022年 8月20日(土)	口述試験	100	12:30～	医学部 保健学科棟

- 特別警報や気象警報等により入学試験の実施を延期する、または試験開始時刻を繰り下げる場合があるため、試験実施までの間、保健学研究科・医学部保健学科ホームページを確認してください。なお、試験を延期する場合は、2022年9月3日(土)を予備日とする予定です。
<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

- 試験当日はマスクの持参及び使用等により、各自で感染拡大防止に努めてください。

6 分野・サブプログラム別試験実施科目等

教育研究分野	サブプログラム	実 施 科 目 等
		口述試験
看護学分野	看護学高度研究コース	分野ごとに修士研究等について試問します
放射線技術科学分野	放射線技術科学・先端研究コース	
検査技術科学分野	臨床検査科学・先端研究コース	
	超音波検査士育成コース(博士前期・後期課程一貫コース)	
	ゲノム医療・医科学研究コース	

7 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
2022年9月16日(金) 10時00分	医学部保健学科棟玄関前

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書を本人あてに送付します。

- ② 掲示による合格発表後、保健学研究科・医学部保健学科 HP にも合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は、2022 年 9 月 16 日（金）から 2022 年 9 月 23 日（金）までとします。<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>
- ③ 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

追加合格・追加募集について

進学手続の状況により、進学者選考の受験者を対象として、「追加合格」により欠員補充を行うことがあります。

実施予定期間：2022年9月29日（木）、9月30日（金）

実施方法： 進学願書に記載された現住所等へ「電話により」直接本人に連絡しますので、本研究科からの連絡が確実に受けられるよう所在を明らかにしておいてください。また、それでもなお入学手続完了者数が募集人員に満たなかった場合は、追加募集を行う場合があります。

8 進学手続等

（1）手続期間： 2022 年 9 月 27 日（火）、9 月 28 日（水）

（進学手続書類等は、合格者に対して出願時に提出された入学願書の住所に郵送します。）

（2）手続場所： 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ
保健学研究科担当

（注）＊ 授業料の納入は進学後 5 月になります。

＊ 授業料（前半期分）267,900 円（年額 535,800 円）【予定額】

進学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

VII サブプログラムと指導教員

1. 看護学分野

サブプログラム	指導教員
看護学高度研究コース	小野智美 教授 齋藤信也 教授(2022年度から募集を停止しています) 中塚幹也 教授 森 恵子 教授 森本美智子 教授

2. 放射線技術科学分野

サブプログラム	指導教員
放射線技術科学・先端研究コース	生口俊浩 教授 黒田昌宏 教授(2023年度から募集を停止します) 中村隆夫 教授 片岡隆浩 准教授 後藤佐知子 准教授

3. 検査技術科学分野

サブプログラム	指導教員
臨床検査科学・先端研究コース	佐藤康晴 教授 廣畑 聡 教授 宮原信明 教授 横田憲治 教授 石川哲也 准教授 勝山恵理 准教授 渡辺彰吾 准教授

超音波検査士育成コース（博士前期・後期課程一貫コース）	廣畑 聡 教授 渡辺彰吾 准教授
ゲノム医療・医科学研究コース	佐藤康晴 教授

VIII カリキュラム・ポリシー（教育課程編成と実施の方針）

【博士後期課程 先端医療研究プログラム】

本研究科保健学専攻の博士後期課程のディプロマ・ポリシーを達成するために、サブプログラムごとに教育課程を編成しています。

〔看護学高度研究コース〕

- ・看護・保健学を背景として看護・保健学領域の研究において指導的役割が担えるための科目として、「専門科目」、「特別研究」を配置しています。
- ・看護・保健学領域における実践・研究を通しヘルスプロモーションの実践と確立に貢献できるための科目として、「看護学研究特講」、「実践科学統計学」を配置しています。
- ・保健・医療・福祉教育の向上に向けた人材育成に貢献できるための科目として、「インタープロフェSSIONALワーク論」、「専門科目」を配置しています。
- ・自立した研究能力を持ち、看護・保健・医療・福祉等の向上に貢献できるための科目として、「学位プログラム概論」、「看護学研究特講」、「実践科学統計学」、「特別研究」を配置しています。
- ・保健・医療・福祉領域の現状に即した多様な視点で、社会のグローバル化に迅速に対応できるための科目として、「インタープロフェSSIONALワーク論」、「国際研究インターンシップ」、「インターンシップ実践（後期）」を配置しています。

コア科目

区 分	授 業 科 目
コア科目	学位プログラム概論
	インタープロフェSSIONALワーク論
	Introduction course for health sciences

専門科目

区 分		授 業 科 目
看護学専門科目	看護学共通科目	看護学研究特講
		実践科学統計学
		グローバル・プレゼンテーション1
		グローバル・プレゼンテーション2
		国際研究インターンシップ（後期）
		インターンシップ実践（後期）
	基礎看護学	基礎看護学特講

		基礎看護学演習
		感染管理学特講
		感染管理学演習
		基礎看護学特別研究
	成育看護学	成育看護学特講
		成育看護学演習
		小児看護学特講
		小児看護学演習
		リプロダクティブヘルス特講
		リプロダクティブヘルス演習
		成育看護学特別研究
	臨床応用看護学	成人看護科学特講
		成人看護科学演習
		緩和ケア科学特講
		緩和ケア科学演習
		臨床応用看護学特別研究
	コミュニティヘルス看護学	地域公衆衛生看護学特講
		地域公衆衛生看護学演習
		看護政策システム学特講
		看護政策システム学演習
		老年看護学特講
		老年看護学演習
		在宅看護学特講
		在宅看護学演習
		精神保健看護学特講
		精神保健看護学演習
		コミュニティヘルス看護学特別研究

[放射線技術科学・先端研究コース]

- ・放射線技術科学を背景とした高度専門職としての知識と技術を習得し、実験・教育・研究において、それを他者へ明確に伝達し、指導できるようにするための科目として、「専門科目」、「特別研究」、「インターンシップ実践(後期)」、「インタープロフェッショナルワーク論」を配置しています。
- ・医科学やヘルスプロモーションの実践・教育・研究を生涯にわたって実施できるようにするための科目には、「学位プログラム概論」、「インタープロフェッショナルワーク論」、「専門科目」、「特別研究」、「インターンシップ実践(後期)」を配置しています。
- ・放射線技術科学を背景としたチーム医療において役割を見だし、それぞれの立場、知識、スキルを理解した上で、他者と議論できるようにするための科目として、「学位プログラム概論」、「インタープロフェッショナルワーク論」、「インターンシップ実践(後期)」を配置しています。

- ・放射線技術科学の専門的知識と研究能力を持ち、保健・医療・福祉における課題を発見し、自ら解決方法を見いだせるようにするための科目には、「学位プログラム概論」、「専門科目」、「特別研究」、「インタープロフェッショナルワーク論」、「インターンシップ実践(後期)」を配置しています。
- ・情報の収集・分析などを行なって、適切に活用して、グローバル化など社会の変化に迅速に対応できるようにするための科目として、「専門科目」、「特別研究」を配置しています。

コア科目

区 分	授 業 科 目
コア科目	学位プログラム概論
	インタープロフェッショナルワーク論
	Introduction course for health sciences

専門科目

区 分	授 業 科 目
放射線技術科学専門科目	放射線技術科学 共通科目
	グローバル・プレゼンテーション 1
	グローバル・プレゼンテーション 2
	国際研究インターンシップ（後期）
	インターンシップ実践(後期)
	医用情報理工学
	医用物理工学特講
	医用物理工学演習
	医用画像解析・診断技術学特講
	医用画像解析・診断技術学演習
	医用情報理工学特別研究
	放射線健康支援科学
	放射線診療技術学特講
	放射線診療技術学演習
	放射線生命・健康科学特講
	放射線生命・健康科学演習
	放射線健康支援科学特別研究

[臨床検査科学・先端研究コース]

- ・臨床検査科学を背景とした高度専門職としての知識と技術を習得し、実験・教育・研究において、それを他者へ明確に伝達し、指導できるようにするための科目として、「専門科目」、「特別研究」、「インターンシップ実践(後期)」、「インタープロフェッショナルワーク論」を配置しています。
- ・医科学やヘルスプロモーションの実践・教育・研究を生涯にわたって実施できるようにするための科目には、「学位プログラム概論」、「インタープロフェッショナルワーク論」、「専門科目」、「特別研究」、「インターンシップ実践(後期)」を配置しています。
- ・臨床検査科学を背景としたチーム医療において役割を見だし、それぞれの立場、知識、スキルを理解した上で、他者と議論できるようにするための科目として、「学位プログラム概論」、「イン

タープロフェッショナルワーク論」，「インターンシップ実践(後期)」を配置しています。

- ・臨床検査科学の専門的知識と研究能力を持ち，保健・医療・福祉における課題を発見し，自ら解決方法を見いだせるようにするための科目には，「学位プログラム概論」，「専門科目」，「特別研究」，「インタープロフェッショナルワーク論」，「インターンシップ実践(後期)」を配置しています。
- ・情報の収集・分析などを行なって，適切に活用して，グローバル化など社会の変化に迅速に対応できるようにするための科目として，「専門科目」，「特別研究」を配置しています。

コア科目

区 分	授 業 科 目
コア科目	学位プログラム概論
	インタープロフェッショナルワーク論
	Introduction course for health sciences

専門科目

区 分	授 業 科 目
検査技術科学専門科目	検査技術科学共通科目
	グローバル・プレゼンテーション1
	グローバル・プレゼンテーション2
	国際研究インターンシップ（後期）
	インターンシップ実践(後期)
	病態情報科学
	組織・細胞情報学特講
	組織・細胞情報学演習
	感染症・病原因子解析学特講
	感染症・病原因子解析学演習
	病態情報科学特別研究
	生体情報科学
	生体機能情報学特講
	生体機能情報学演習
	生体防御機能解析学特講
	生体防御機能解析学演習
	生体情報科学特別研究

[超音波検査士育成コース（博士前期・後期課程一貫コース）]

- ・臨床検査科学を背景とした高度専門職としての知識と技術を習得し，実験・教育・研究において，それを他者へ明確に伝達し，指導できるようにするための科目として，「専門科目」，「特別研究」，「インタープロフェッショナルワーク論」を配置しています。
- ・医科学やヘルスプロモーションの実践・教育・研究を生涯にわたって実施できるようにするための科目には，「学位プログラム概論」，「インタープロフェッショナルワーク論」，「専門科目」，「特別研究」を配置しています。
- ・臨床検査科学を背景としたチーム医療において役割を見だし，それぞれの立場，知識，スキルを理解した上で，他者と議論できるようにするための科目として，「学位プログラム概論」，「イン

タープロフェッショナルワーク論」を配置しています。

- ・臨床検査科学の専門的知識と研究能力を持ち、保健・医療・福祉における課題を発見し、自ら解決方法を見いだせるようにするための科目には、「学位プログラム概論」，「専門科目」，「特別研究」，「インタープロフェッショナルワーク論」を配置しています。
- ・情報の収集・分析などを行なって、適切に活用して、グローバル化など社会の変化に迅速に対応できるようにするための科目として、「専門科目」，「特別研究」を配置しています。
- ・超音波検査学を背景とした高度専門職としての知識と技術を習得し、実験・教育・研究において、それを他者へ明確に伝達し、指導できるようにするための科目として、各学年でも臨床研修（超音波画像計測学実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）を継続し、超音波検査士の資格取得に足る様々な症例経験を積む機会を提供します。

【博士前期課程】

共通・コア科目

区 分	授 業 科 目
共通・コア科目	学位プログラム概論
	リーダーシップと SDGs
	ヘルスプロモーション科学
	医療倫理学
	危機管理学
	研究方法論

専門科目

区 分	授 業 科 目
検査技術科学専門科目	検査技術科学 共通科目
	グローバル・プレゼンテーション1
	グローバル・プレゼンテーション2
	国際研究インターンシップ（前期）
	病態情報科学
	高次機能解析学特論
	高次機能解析学演習
	ゲノム病理学特論
	ゲノム病理学演習
	細胞診断学演習
	病原因子解析学特論
	病原因子解析学演習
	感染制御学特論
	感染制御学演習
	病態情報解析科学特別研究

	生体情報科学	機能情報解析学特論
		機能情報解析学演習
		生体情報解析学特論
		生体情報解析学演習
		細胞・免疫科学特論
		細胞・免疫科学演習
		生体機能解析学特論
		生体機能解析学演習
		超音波画像計測学特論
		超音波画像計測学演習
		超音波画像計測学実習Ⅰ
		超音波画像計測学実習Ⅱ
		生体情報機能科学特別研究

【博士後期課程】

コア科目

区 分	授 業 科 目
コア科目	学位プログラム概論
	インタープロフェッショナルワーク論
	Introduction course for health sciences

専門科目

区 分		授 業 科 目
検査技術科学専門科目	検査技術科学 共通科目	グローバル・プレゼンテーション 1
		グローバル・プレゼンテーション 2
		国際研究インターンシップ（後期）
	病態情報科学	組織・細胞情報学特講
		組織・細胞情報学演習
		感染症・病原因子解析学特講
		感染症・病原因子解析学演習
		病態情報科学特別研究
	生体情報科学	生体機能情報学特講
		生体機能情報学演習
		生体防御機能解析学特講
		生体防御機能解析学演習
		超音波画像計測学実習Ⅲ

		超音波画像計測学実習Ⅳ
		超音波画像計測学実習Ⅴ
		生体情報科学特別研究

[ゲノム医療・医科学研究コース]

- ・ゲノム医療・医科学を背景とした高度専門職としての知識と技術を習得し、実験・教育・研究において、それを他者へ明確に伝達し、指導できるようにするための科目として、「専門科目」、「特別研究」、「インタープロフェッショナルワーク論」を配置しています。
- ・医科学やヘルスプロモーションの実践・教育・研究を生涯にわたって実施できるようにするための科目には、「学位プログラム概論」、「インタープロフェッショナルワーク論」、「専門科目」、「特別研究」を配置しています。また、岡山大学病院ゲノム医療総合推進センターと連携して、遺伝子解析をもちいた臨床および基礎研究を行うとともに、岡山大学で行われている遺伝子診断にも携わって実務経験（臨床経験）を積むことができます。
- ・チーム医療において役割を見だし、それぞれの立場、知識、スキルを理解した上で、他者と議論できるようにするための科目として、「学位プログラム概論」、「インタープロフェッショナルワーク論」を配置しています。
- ・ゲノム医療・医科学の専門的知識と研究能力を持ち、保健・医療・福祉における課題を発見し、自ら解決方法を見いだせるようにするための科目には、「学位プログラム概論」、「専門科目」、「特別研究」、「インタープロフェッショナルワーク論」を配置しています。
- ・情報の収集・分析などを行なって、適切に活用して、グローバル化など社会の変化に迅速に対応できるようにするための科目として、「専門科目」、「特別研究」を配置しています。

コア科目

区 分	授 業 科 目
コア科目	学位プログラム概論
	インタープロフェッショナルワーク論
	Introduction course for health sciences

専門科目

区 分	授 業 科 目
検査技術科学 専門科目	検査技術科学 共通科目
	グローバル・プレゼンテーション 1
	グローバル・プレゼンテーション 2
	国際研究インターンシップ（後期）
	病態情報科学
	組織・細胞情報学特講
	組織・細胞情報学演習
	感染症・病原因子解析学特講
	感染症・病原因子解析学演習
	病態情報科学特別研究
	生体情報科学
	生体機能情報学特講
	生体機能情報学演習

		生体防御機能解析学特講
		生体防御機能解析学演習
		生体情報科学特別研究

IX ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

【博士後期課程 先端医療研究プログラム】

【看護学高度研究コース】

保健・医療・福祉に携わる高度専門職としての知識と技術を修得し、それを総合的に応用できる能力や各個人が独創的な発想のもとで真理を探究する能力を身に付け、国際的感覚を持ちつつ、地域医療等の領域やチーム医療の中でリーダーシップを発揮できる看護職者、研究者、教育者の育成を目指します。

このサブプログラムでは、論文にまとめた研究成果が研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、以下の要件を満たしている人に学位を授与します。

- 看護・保健学領域の実践・教育・研究において指導的役割を担うための能力を身につけている。
- 看護・保健学領域における実践・研究で実証されたヘルスプロモーション推進に貢献できる。
- 保健・医療・福祉教育の現状について理解し、保健・医療分野の多様化を重視した人材育成方針について検討できる。
- 自立した研究者として看護・保健・医療・福祉分野における課題を見出し、看護・保健・医療・福祉分野の発展に貢献できる。
- グローバル化に対応するためのスキルを身につけ、多様な視点で保健・医療・福祉の向上に向けた現状の分析ができる。

課程修了・学位授与の基準は、所定の年限在学し、研究指導を受け、中間発表を行い、所定の単位を修得し、本研究科が行う論文審査及び最終試験に合格することで、具体的には、以下のレベルに到達していることを目安とします。

- (1) 学位請求論文は客観的公正な査読が行われている学術雑誌に掲載あるいは掲載確実の原著論文である。
- (2) 掲載雑誌は、それぞれの専門分野において評価を受け、学術雑誌としての基準を満たしている。
- (3) 保健医療分野において、高い専門性に基づき、主体的に研究課題を見だし、的確なリサーチクエスションを設定し、それを検証するに相応しい適切な研究手法のもとに、研究を遂行できる能力および学識を有している。
- (4) 研究成果を明快に提示し、質疑に対して的確な対応ができる。

【放射線技術科学・先端研究コース】

最先端の放射線診療に携わる高度専門職としての知識と技術を修得し、それを総合的に応用できる能力や各個人が独創的な発想のもとで真理を探究する能力を身に付け、国際的感覚を持ちつつ、地域医療等の領域やチーム医療の中でリーダーシップを発揮できる医療技術者、研究者、教育者の育成を目指します。

このサブプログラムでは、論文にまとめた研究成果が研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、以下の要件を満たしている人に学位を授与します。

- 放射線技術科学を背景とした保健学の実験・教育・研究において指導的役割が担える。
- 放射線技術科学を背景とした保健学の実践・教育・研究を通して、医科学やヘルスプロモーションの実践と確立に貢献できる。

- 保健・医療・福祉教育の向上と保健・医療分野の人材育成に貢献できる。
- 独創的かつ自立した研究能力を持ち、機器・技術の開発等を通して保健・医療・福祉に貢献できる。
- 柔軟な発想と多角的視点を持ち、グローバル化など社会の変化に迅速に対応できる。

課程修了・学位授与の基準は、所定の年限在学し、研究指導を受け、中間発表を行い、所定の単位を修得し、本研究科が行う論文審査及び最終試験に合格することで、具体的には、以下のレベルに到達していることを目安とします。

- (1) 学位請求論文は客観的公正な査読が行われている学術雑誌に掲載あるいは掲載確実の原著論文である。
- (2) 掲載雑誌は、それぞれの専門分野において評価を受け、学術雑誌としての基準を満たしている。
- (3) 保健医療分野において、高い専門性に基づき、主体的に研究課題を見だし、的確なリサーチクエストを設定し、それを検証するに相応しい適切な研究手法のもとに、研究を遂行できる能力および学識を有している。
- (4) 研究成果を明快に提示し、質疑に対して的確な対応ができる。

〔臨床検査科学・先端研究コース〕

最先端の臨床検査診療に携わる高度専門職としての知識と技術を修得し、それを総合的に応用できる能力や各個人が独創的な発想のもとで真理を探究する能力を身に付け、国際的感覚を持ちつつ、地域医療等の領域やチーム医療の中でリーダーシップを発揮できる医療技術者、研究者、教育者の育成を目指します。

このサブプログラムでは、論文にまとめた研究成果が研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、以下の要件を満たしている人に学位を授与します。

- 臨床検査科学を背景とした保健学の実験・教育・研究において指導的役割が担える。
- 臨床検査科学を背景とした保健学の実践・教育・研究を通して、医科学やヘルスプロモーションの実践と確立に貢献できる。
- 保健・医療・福祉教育の向上と保健・医療分野の人材育成に貢献できる。
- 独創的かつ自立した研究能力を持ち、機器・技術の開発等を通して保健・医療・福祉に貢献できる。
- 柔軟な発想と多角的視点を持ち、グローバル化など社会の変化に迅速に対応できる。

課程修了・学位授与の基準は、所定の年限在学し、研究指導を受け、中間発表を行い、所定の単位を修得し、本研究科が行う論文審査及び最終試験に合格することで、具体的には、以下のレベルに到達していることを目安とします。

- (1) 学位請求論文は客観的公正な査読が行われている学術雑誌に掲載あるいは掲載確実の原著論文である。
- (2) 掲載雑誌は、それぞれの専門分野において評価を受け、学術雑誌としての基準を満たしている。
- (3) 保健医療分野において、高い専門性に基づき、主体的に研究課題を見だし、的確なリサーチクエストを設定し、それを検証するに相応しい適切な研究手法のもとに、研究を遂行できる能力および学識を有している。
- (4) 研究成果を明快に提示し、質疑に対して的確な対応ができる

〔超音波検査士育成コース（博士前期・後期課程一貫コース）〕

超音波検査に携わる高度専門職としての知識と技術を修得し、それを総合的に応用できる能力や各個人が独創的な発想のもとで真理を探究する能力を身に付け、国際的感覚を持ちつつ、地域医療等の領域やチーム医療の中でリーダーシップを発揮できる医療技術者、研究者、教育者の育成を目指します。

このサブプログラムでは、論文にまとめた研究成果が研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、以下の要件を満たしている人に学位を授与します。

- 超音波検査学を背景とした保健学の実験・教育・研究において指導的役割が担える。
- 超音波検査学を背景とした保健学の実践・教育・研究を通して、医科学やヘルスプロモーションの実践と確立に貢献できる。
- 保健・医療・福祉教育の向上と保健・医療分野の人材育成に貢献できる。
- 独創的かつ自立した研究能力を持ち、機器・技術の開発等を通して保健・医療・福祉に貢献できる。
- 柔軟な発想と多角的視点を持ち、グローバル化など社会の変化に迅速に対応できる。

課程修了・学位授与の基準は、所定の年限在学し、研究指導を受け、中間発表を行い、所定の単位を修得し、本研究科が行う論文審査及び最終試験に合格することで、具体的には、以下のレベルに到達していることを目安とします。

- (1) 学位請求論文は客観的公正な査読が行われている学術雑誌に掲載あるいは掲載確実の原著論文である。
- (2) 掲載雑誌は、それぞれの専門分野において評価を受け、学術雑誌としての基準を満たしている。
- (3) 超音波検査分野において、高い専門性に基づき、主体的に研究課題を見だし、的確なリサーチクwestionsを設定し、それを検証するに相応しい適切な研究手法のもとに、研究を遂行できる能力および学識を有している。
- (4) 研究成果を明快に提示し、質疑に対して的確な対応ができる。

[ゲノム医療・医科学研究コース]

博士前期課程で修得した技術や知識をさらに発展させ、最先端の医科学研究を実践し、high impact journal への投稿を目指します。また、岡山大学で実際に行われている遺伝子診断業務に携わり、実務経験を積むことでキャリアアップを図ります。このように研究と実務を通して、国際的感覚を持ちつつ、研究と教育を両立できるサイエンティストを育成します。

このサブプログラムでは、論文にまとめた研究成果が研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、以下の要件を満たしている人に学位を授与します。

- 医科学領域における実験・教育・研究において指導的役割が担える。
- ゲノム医療に関する実践・教育・研究を通して、医科学やヘルスプロモーションの実践と確立に貢献できる。
- 保健医療教育の向上と保健医療分野の人材育成に貢献できる。
- 柔軟な発想と多角的視点を持ち、グローバル化など社会の変化に迅速に対応できる。

課程修了・学位授与の基準は、所定の年限在学し、研究指導を受け、中間発表を行い、所定の単位を修得し、本研究科が行う論文審査及び最終試験に合格することで、具体的には、以下のレベルに到達していることを目安とします。

- (1) 学位請求論文は客観的公正な査読が行われている学術雑誌に掲載あるいは掲載確実の原著論文である。
- (2) 掲載雑誌は、それぞれの専門分野において評価を受け、学術雑誌としての基準を満たしている。
- (3) 保健医療分野において、高い専門性に基づき、主体的に研究課題を見だし、的確なリサーチクwestionsを設定し、それを検証するに相応しい適切な研究手法のもとに、研究を遂行できる能力および学識を有している。
- (4) 研究成果を明快に提示し、質疑に対して的確な対応ができる。

入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです



STEP 1

▼

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。
(スマートフォン、タブレットは非推奨)




STEP 2

▼

▼

入学検定料支払サイトにアクセス

日本語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>
または、
英語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng>
または、
大学ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html/>
からアクセス



STEP 3

▼

▼

▼

個人情報の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



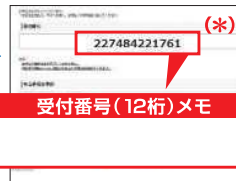
①試験方式、研究料等



②テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェック☑を入れてください。



③個人情報(氏名・住所等)



④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
個人情報を確認する場合と、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。



⑤入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンク ●クレジットカード



⑥入学検定料支払証明書
(イメージ)

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号**を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

! 申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

4



入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

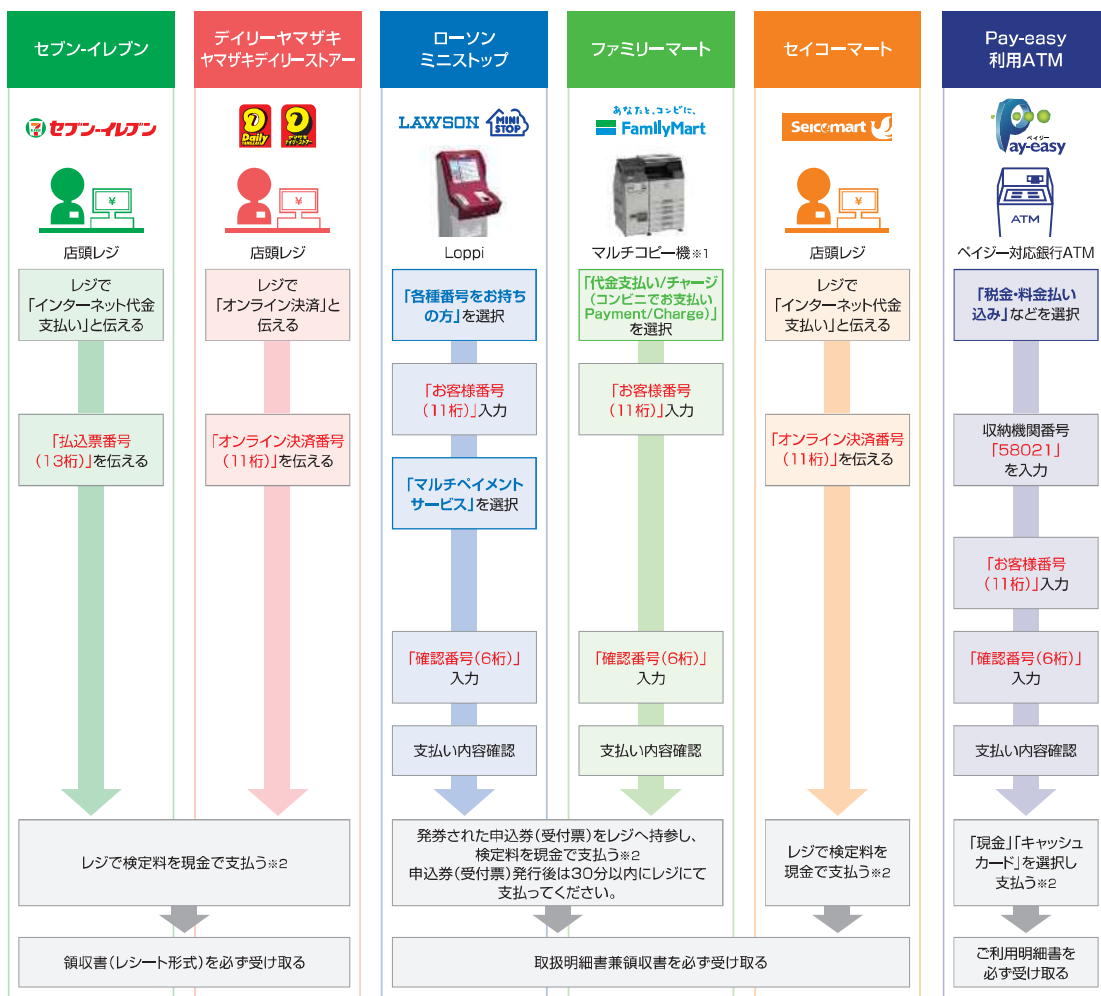
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※1:店舗によっては、マルチコピー機でなくfamiポートを利用する場合があります。

※2:ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

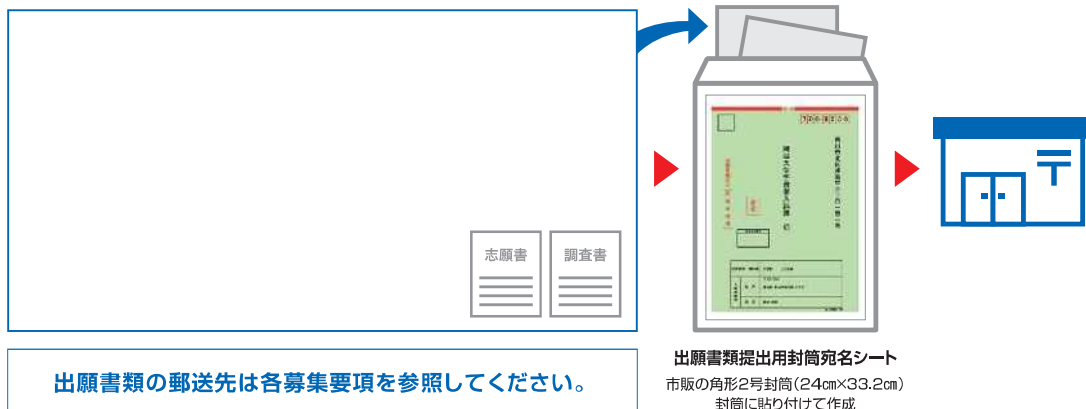
STEP

5



入学検定料支払証明書の印刷

登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、必要書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。



■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は各募集要項を参照してください。

※いったん受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈支払完了〉

出願時の
注意点

出願は学生募集要項記載の必要書類と入学検定料支払証明書を併せて郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

支払は24時間可能です。個人情報登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

鹿田キャンパス案内図



＜試験場への経路＞

- ① J R岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル4番のりばから岡電バス【2H】系統「大学病院」行き に乗車，「大学病院（構内）」で下車，又は【12】系統「岡南営業所」行きに乗車，「大学病院入口」で下車。（※バス所要時間約15分）
- ② J R岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル3番のりばから岡電バス【22】系統「岡山ろうさい病院」行き，【62】系統「岡南飛行場」行きのいずれかに乗車，「大学病院入口」で下車（※バス所要時間約15分）
- ③ J R岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル2番のりばから岡電バス【52】系統「大東」行きに乗車，「大学病院入口」で下車（※バス所要時間約15分）

※記載のバス所要時間は通常の交通状況での見込み時間です。試験当日は交通渋滞が予想されます。

注）岡山大学病院エリアの建物内（ピンク色の建物）への立入はお控えください。

募集要項，出願書類は，次のホームページからダウンロードしてください。

<https://www.fhs.okayama-u.ac.jp/>

